

事務局体制の確認

選択 **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者がいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

選択 **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択 **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容 事務局に頼りっぱなしの工務店を脱却し、自立自走できる体制を応援しています。

選択 **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容 をSNSを通じて会員限定で発信しています。プラス会員を含めた、地域の工務店向けにセミ

選択 **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容 会（以下 住管協）への加入により、地元の工務店廃業への対応はもちろん、全国的にも連

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択 **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

選択 **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容 応力度計算をした耐震等級3の割合を、46.7%→55.6%へ 長期優良住宅は35.2%→59.8%

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積りに関する統一したルールがある
<input type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input type="checkbox"/>	その他
内容	8寸 尺で、長さ = 3m 4mの材料を中心に使っていく通称ロバートプロジェクトを推進し

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input type="checkbox"/>	その他
内容	推薦の履歴システムによる管理をしています。事務局としては住管協のシステムを推薦してい

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	がある場合は優先し、ない場合は住管協の計画書をベースに、必要ならカスタマイズしなが

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input checked="" type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input checked="" type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input type="checkbox"/>	その他
内容	の会員からの情報発信も頻繁にあります。また、久留米市に本社がある住管協 神奈川にあ

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

受付番号

347

グループ名称

特定非営利活動法人 大工村

様式3

選択

グループの未経験工務店に対するサポート体制

- 未経験工務店への優先サポートの実施
- 地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
- 各種認定取得サービスの活用提案
- 施工管理・施工検査のサポート
- 営業支援（提案書作成・営業同行）
- 事務局による交付申請書類作成支援
- 事務局による実績報告書類作成支援
- 特にサポートは行っていない
- その他

内容 営につながる、ちょうどいい距離感で、「高性能住宅を今ではみんな作っているよ！」と知

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択

地域型住宅として地域社会との連携・継承等について

- 地域の伝統的なデザインの継承を意識している
- 地域の街並みの継承を意識して対応する
- 地域の住まい方の継承を意識して対応する
- 地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択

災害発生時・発生後の対応について

- 特に取り決めしていることは無い
- 取組みを行っている

ン化のグループなどと連携して有事対応について不定期に話し合いをしている。それ以上に而

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受る

受付番号

347

グループ名称

特定非営利活動法人 大工村

グループの取組み等PRポイントについて

グループ母体であるNPO法人大工村の活動が、コロナの関係で、対面でのイベントができない今だからこそできる情報発信を活発にしています。年4回の広報誌DMをはじめ、SNS 動画配信などを使い、災害時にも安心して自宅避難でき、住み続けられる家づくりが大切で、長期優良住宅が家族の資産となる事を理解してもらっています。その甲斐があり、長期優良住宅 許容応力度計算の物件が進捗で6割を超えています。

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

全国の他のグループとの連携により、長期優良は「一般社団法人住宅管理ストック推進協会」から維持管理のノウハウを提供していただき、多くの会社が取組みをスタートしています。耐震に関しては(株)喜太郎がすすめる構造計算をした耐震等級3物件の提案により、会員販売店の構造計算をした耐震等級3物件の出荷が今年に入り8割に近い割合になりました。断熱気密性能については、神奈川県Kizukiのサポートを受け、断熱気密や換気、各所の取まりなどの指導を受けての家づくりもスタートしています。前年度に完成した断熱気密施工研修センターでのセミナーや研修の開催で、会員の断熱など性能標準仕様が強化されています。

地域型住宅における地域材の活用について

熊本の(株)喜太郎協力の元、国産材を活用した提案を積極的にしている。今後の展開としては地域の製材所の在庫管理を効率化していく事も含め、35寸幅 60寸 80寸 尺成の梁 3m 4m材仕様を前提にした躯体の伏図作りの共通化を目指してプロジェクトをスタートしました。これにより、種類を少なく、多くの在庫を持つ事が出来安定供給につながります。ただ、この限定した寸法の梁の為にプランの自由度が低下したり、価格アップにつながらない事前検討や勉強会を開催しています。

引き渡し後の維持管理について

一般社団法人住宅管理ストック推進協会からの協力により、当該エリアの工務店の点検 維持管理が慣習的に無料だったものを有料かつ、優良なものに変えていく。持続可能な工務店業ができる環境作りをグループ全体でやっていく。また、当該グループに未加入の工務店にも積極的に取り組んでいただき、優良な住宅を安心 安全に長期にわたり維持管理していく習慣作りをしていきます。これにより、家が資産になっていき、子供や孫の代まで考えた家づくり 管理をしていきます。

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

当グループの運営団体、NPO法人大工村が窓口となり、HPやブログ SNSなどを通じて情報発信と共に、何かあったら相談できる問い合わせフォームを作っております。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	特定非営利活動法人 大工村			
R3採択グループ番号	10	-	0156	- 0349

F:交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input checked="" type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 :モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目			
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他		

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1	6	0.43	142	28	<input checked="" type="checkbox"/>	6.81					
2	7	0.46	107	33	<input checked="" type="checkbox"/>	7.1					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1:導入する省エネ手法をお答えください

選択項目			
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/>	地熱利用
<input type="checkbox"/>	その他		

(2)-2:現在の運用をお答えください

選択項目			
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している	<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない